



すくすく



附属小学校
生活部だより第7号
令和4年12月1日

人権・同和教育参観日から

今年度も感染拡大防止に留意しながら、ライブ配信にてなかよし集会を行い、分散での授業参観を行いました。その様子や、保護者の皆様からいただいた感想を一部紹介させていただきます。

なかよし集会・人権ミュージカル (ライブ配信)

1. 始めの言葉

集会委員が練習を重ね、スムーズに務めました。

2. 人権劇

ボランティア委員が行いました。日常のちょっとした場面での寸劇を行い、言葉掛けや思いやりについてみんなで考えました。

3. 読み聞かせ

図書委員会が担当しました。全校の心をぐっと引き寄せました。

3. 人権標語の発表

4. 全校合唱

各学年代表の心温まる人権標語でした。言葉に対する思いもしっかり伝わりました。

5. 終わりの言葉

音楽委員会とコーラス部の「マジカルワード」の歌声に合わせて、スライドショーを流しました。写真を見ながら口ずさむ様子が見られました。

<なかよし集会について保護者皆様の感想の一部>

- ・なかよし集会の中では、特に、図書委員会のみなさんによる、読み聞かせが素晴らしかったです。良い絵本を選んでいると思いました。人権標語もさすがでした！あと、マジカルワードの合唱が聴けて、嬉しかったです。
- ・読み聞かせは、可愛らしくて優しい気持ちになり、笑顔になりました。コーラス部と音楽委員会の演奏と歌は、美しく心に響きました。
- ・人権集会は委員会の児童がやっている劇だからこそか、子どもも印象が強くなるようで家でも話してくれました。身近によくある内容だけだと改めて見ると気付くこともあるようで、子どもの話からそう感じました。



<人権ミュージカルについて保護者皆様の感想の一部>

- ・なかよし集会や人権ミュージカルを家でも視聴できることで、子どもと人権について話す機会ができ、よかったと思います。特に、うちの子どもは人権ミュージカルで何か感じるものがあったらしく、家でもう一回見て、こういう状況が本当にあるということ、自分だったらどういう言葉をかけるか、など考えていました。
- ・自宅で、録画映像を視聴させて頂きました。家族で楽しく視聴しました。娘は、人権ミュージカルからコロナを題材にして身近な偏見について考えました。看護師のお母さんが、偏見していた相手方のお父さんの命を助けることになった話。偏見が間違っていると感じたようです。

人権・同和教育参観日

日曜参観ということで多くの参観をいただきました。子どもやクラスの様子を知るとともに、授業を通して、子どもだけでなく、保護者の皆様も同じように人権について考えられたのではないのでしょうか。



<授業参観について保護者皆様の感想の一部>

- ・相手の気持ちを深く考えてみるという機会は大変貴重だと思います。なんとなく自分でわかっている、他のお友達のを聞いてみたりすることで、さらに自分の気持ちを深めたり、違う角度で見られることを学んだりできると思います。一つの答えを求めるのではなく、いろいろな答えから、さらに考えを深めていく授業の大切さを感じました。
- ・自分のことを思ってくれる友達について、友達とは、ということについて、しっかり考えることができていました。こういう授業を通して、思いやりの気持ちが育てばうれしいなと思いました。他の人への思いやりと想像力、お勉強だけでなく、将来大切な力だと思います。

レインボーキャンプを楽しもう！（4年部）

「レインボーキャンプを楽しむために、みんなはどうする？」という問いからスタートしました。4年生の子どもたちの考えをキーワードとしてまとめたものが「自主」「責任」「協力」「自然」「感謝」の5つでした。具体的にどんなことを頑張ったらよいのか、どんなふう to 成長したらよいのか話し合いながら準備を進め、挑んだ1泊2日の野外活動センターでの活動でした。

1日目の活動はクラフト教室とウォークラリー、そしてキャンプファイヤー。クラフト教室では、輪切りにした木に思い思いの絵や模様を描き、個性豊かな木製キーホルダーを作りました。「最高の思い出のキーホルダーができた」と喜ぶ姿、作ったキーホルダーをリュックサックに付けて嬉しそうにしている姿にほっこりしました。ウォークラリーでは、班ごとに分かれ8か所のチェックポイントを回りました。さわやかな秋晴れの中、仲間と協力して楽しく回ることができました。キャンプファイヤーでは、クイズや劇、ダンスなどみんなで考え、練習してきた出し物を発表しました。最後に全員で踊った「マイムマイム」は大いに盛り上がり、とても楽しいひと時になりました。自分たちが今すべきことは何かを考え、自主的に行動しようと頑張ることができた1日目でした。

2日目の活動は自由時間と奉仕活動。午前中は、芝生広場やアスレチック広場で、思いっきり走り回ったり、ボールを使って遊んだり、アスレチックで遊んだり…野外活動センターの自然を満喫しながら伸び伸びと活動しました。きれいな葉っぱや木の実を拾って、秋を感じている子どももたくさんいました。午後からは、「来たときよりも美しく！」の精神で、使わせていただいた場所の掃除をしました。自分たちで分担を考え、時間いっぱい感謝の気持ちを込めて奉仕活動に取り組みました。

多くの皆様のご理解、ご協力のおかげで、無事に2日間の活動を行うことができた子どもたち。今回の活動で学んだことや気付いたことを大切にしながら、今後も4年生には「意気揚々」と成長していってほしいと願っています。

（4年部 木下 理重子）



持久走シーズンを通して思うこと

11月9日（水）、校内持久走大会が行われました。当日は、雲一つない秋晴れ。最高の持久走日和の中、子どもたちは練習してきたことを精一杯発揮していました。

持久走は、他の運動に比べて子どもたちの人気は決して高くありません。「楽しくない」「しんどい」「疲れる」等々、マイナスのイメージを抱かれがちな運動です。でも、こつこつと努力を重ねていくと、確実に力が付いていく運動でもあります。苦手意識を持っている子どもたちでも、自己ベストを更新すれば「先生！タイム伸びた！」と笑顔で報告してくれますし、その顔は本当にキラキラと輝いています。はじめは嫌だった持久走が、練習を重ねることで、いつの間にか自分を高める運動に変わり、達成感や満足感を得ることができた子どもたちも多いはず。「がんばった自分は自分のもの。」ここで得た達成感や満足感、自信を次に生かす子どもたちの姿を見るのが楽しみです♪

また、特にすばらしいと感じたのが、応援をする態度です。自分のレースが間近に迫っているのに、前のレースの最後の走者が自分の前を走り抜けるまで全力で応援していました。こんな素敵な子どもたちがいる附属小学校って本当にすばらしいです。こちらまで温かい気持ちにさせてもらいました。

次の体育的行事は、なわとび集会です。なわとびも持久走同様にやった分だけ力が伸びていくすてきな運動です。目の前のことに一生懸命励む、素敵な附属っ子の姿を楽しみにしています。

（体育主任 濱田 圭）

相談室より

2学期も後半に入りました。週に1度の来校ではありますが、その度に何気ない言動から、子どもたちの成長を感じています。大きな行事の時以外でも日々の生活の中で、友達との関係というのは子どもたちにとって、とても大きな存在だと思います。小学生や中学生の子どもたちとお話して思うのは、子どもたちは友達関係について色々よく考え、そこから多くのことを学んでいるのだなということです。友達との関係を維持することは、子どもたちの世界の中では本当に大変なことで、友達が支えとなったり、時には孤独を感じたりとゆれ動きます。それは、成長のために必要な心の動きですが、子どもの心の中で何が起きているのか、外からは分かりにくいので、とても心配になると思います。そのような時は、何があったのか事実の部分がどうしても気になって質問をしたくなると思うのですが、子どもがどんな風を感じているのか、まずは気持ちの部分に焦点をあてると、解決に向けての一步を考えやすくなるのかなと思います。もちろん、スクールカウンセラーも一緒に考えていきますので、何か気になることがございましたら、ぜひご相談ください。

（スクールカウンセラー 福井 亜衣）

12月の相談日 6日(火)、13日(火)、20日(火) 13:00~17:00
予約専用電話 090-9451-9693

